

## 第8回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成19年7月5日(木) 県庁4階大会議室	
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 広瀬 慎一 (富山県立大学短期大学部教授) 委員 尾畑 納子 (富山国際大学地域学部教授) 委員 島谷 武志 (弁護士) 委員 中村 和之 (富山大学経済学部教授) 委員 林 玲子 (税理士)	
次第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 平成18年度公共工事に係る入札契約制度について ② 入札契約方式別発注状況について ③ 指名停止等の運用状況について ④ 落札率について ⑤ 一位不動入札について ⑥ 落札率100%入札工事について 3 審議対象工事の抽出結果の報告(広瀬委員長) 4 発注工事の審議(抽出案件) 5 閉会	
審査対象期間	平成18年10月1日～平成19年3月31日	
審議案件	10件 (対象工事総件数998件)	
一般競争入札	1件	・舟川総合開発事業舟川ダム本体工事
公募型指名競争入札	2件	・神通川左岸流域下水道神通川左岸浄化センター水処理施設(7・8/16系列)電気設備工事 ・かんがい排水五位庄地区五位庄用水路第38工区工事
通常型指名競争入札 (5千万円以上)	1件	・新湊高校普通教室棟耐震補強等工事
通常型指名競争入札 (5千万円未満)	5件	・一般国道472号道路改築(茗ヶ島工区)道路改良その4工事 ・氷見漁港環境整備園路工工事 ・長引野地区急傾斜地崩壊対策擁壁工その4工事 ・小矢部川水系岸谷川砂防改良函渠工工事 ・一般農道音川3期地区整備工事
随意契約	1件	・西部工業用水道事業A地区幹線配水管補修工事
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会としての意見	平成18年度下半期発注工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。 低入札案件については、制度の運用の推移を見守ることとする。	

(問合せ先) 富山県土木部管理課入札・契約係  
 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
 電話番号: 076-444-3309

別 紙

意見・質問	回 答
<p>(一般競争入札)</p> <p>○一般競争入札案件の低入札価格調査において、下請けの価格が妥当かどうか調査しているのか。</p> <p>○低入札になった一番の要因は何か。</p> <p>○入札者がすべて調査基準価格を下回っているが、特殊な要因があるか。</p> <p>○公共事業では品質管理をしっかりとすべき。制度面での見直しをしているのか。</p> <p>(公募型指名競争入札)</p> <p>○入札参加者が3JVと数が少ないが、要因は何か。</p> <p>○入札額にあまり差がついていないのはなぜか。</p> <p>(指名競争入札)</p> <p>○総合評価方式において、学識経験者は企業と接触することはないのか。</p> <p>○総合評価方式の実施にあたっては、評価の透明性が確保されることが重要。また、技術加算点をどう運用するかが重要になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査では、発注者として原価割れをしないか厳しく確認している。</li> <li>・主要機材であるクレーンについて、代表構成員が他のダム工事で使用した効率性の高い自社所有のものを使用すること等で大幅に経費を節減している。</li> <li>・全国的にダムの工事が減っている中で、工事实績が入札条件になることから、各企業とも積極的に受注しようという状況にあったもの。</li> <li>・県では著しい低入札に対して数値判断基準を設けることとしたところである。また、低入札工事では工事監督を一層厳しくするなどにより品質を確保することになっている。</li> <li>・この工事は既存のシステムと調整しなければならない電気設備工事であり、企業にとってはやや施工しにくい工事だったため応募が少なかったのではないか。</li> <li>・今回の工事箇所では仮設部分で工夫の余地が少ないためではないかと考えている。</li> <li>・委員には守秘義務をお願いしており、企業と接触することはない。</li> </ul>
<p>(その他)</p>	